

第20回 アクアスロンくらはし大会  
( 呉市倉橋町 )

報 告

日 時：2019年7月14日(日)

スタート：9時00分

参加者数：300人

距 離：アクアスロン＝スイム2.4km・ラン20km

結 果：総合2位

総合タイム1時間58分53秒

スイム2.4km 37分11秒(3)・ラン20km 1時間21分42秒( ) ※( )内はカテゴリー順位

久しぶりに総合争いができ、大会を支え続ける大会会長(森本先生)が労をねぎらってくれた。初代チャンピオンから20年の月日が経ったのだ。人生的一幕ではあるが、この間色んなことがあった。

私が27歳の頃、トライアスロンが少し安定してきたその昔、広島県内の人気大会であったスイムラン蒲刈の名で今大会の前身になるスポーツイベントがあった。

時代の流れで、現在の安芸灘大橋がかかり大会が消えることになった。呉市で開催されていた中国地方最大のトライアスロン大会だった【ワールドトライアスロン in 広島】も名前が変わり縮小し、最後に日本選手権を行い消滅した。

次々と大会がなくなり広島のトライアスリート達の心の灯が消えかかった。

そんな時、現在の呉市倉橋町の名医でもあられた森本先生が、『私の街で引き継ぎます！』と宣言された。

そして【第1回アクアスロンくらはし大会】が始まった。その頃は島ではスポーツをやる事は道楽だとの風潮があったが、それでもわが町のお医者さんが言うのだからと皆が協力した。

『トライアスロンは人を変え街を変える』と、私はトライアスロンを始めようとする組織の人たちへ話をするところがある。そのお手本の街でもある。

第1回を総合優勝し、スポーツの素晴らしさを直接伝えた事に先生たちや街が喜んでくれた。

それが嬉しくてずっと出続けた大会。私のトライアスロン人生を軌道に乗せた大会と言っても過言では無い。

その間、韓国との友好事業もあり、韓国でトライアスロンの発展に協力してほしいと招待選手として呼んでもらえるようになったのも、この大会、森本先生のおかげだ。

思えば森本先生が発信した【アクアスロンくらはし】はただのイベントスポーツではなく、私の人生の中でかけがえのないものになった。

20年経った今日、総合優勝を競り合う形で大会を盛り上げられたのは光栄だと思う。

結果は総合2位...

競技者としては総合優勝し20回記念を祝いたかったのは他ならない。

自分のレース後は、未来を走る子供たちのレースをお手伝いさせてもらえた。第20回大会は天気は悪かったが、大いに盛り上がったと感じる。それは所狭しと選手たちが集まった閉会式でも感じた。

大会を盛り上げてくださった選手。そして会場へ駆けつけた応援者、スタッフ。本当に感謝の瞬間だ。

長く競技を続け忘れ去られる事を、またこのように伝え続けることができるのは、もしかしたら使命なのかもしれない。

感謝

トライアスリート 福元テツロー

